

笑顔あふれる学校

令和7年5月8日
知立小学校だより
校長 伊藤 雅彦



「学力」とは？ 学力を伸ばすために

新年度を迎え、早くも1か月が経ち新緑の季節5月を迎えました。芽吹く青葉のように子どもたちもすくすく成長しています。先月は授業参観・父母教師会総会へのご参加、誠にありがとうございました。総会では、400名を超える保護者の皆様のご参加があり、本校の教育活動や新年度の方針に、強く関心をもっていただいていると意を強くいたしました。

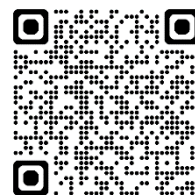
さて、小学校学習指導要領が改訂、全面实施されてから5年が経ちました。10年前後で見直されているので、ちょうど折り返し地点かもしれません。学習指導要領では、獲得を目指す力について次の3点を挙げています。

- ①生きて働く「知識・技能の習得」
 - ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力の育成」
 - ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養(かんよう)」
- ①や②は分かっても、③は分かりづらいかもしれません。

4月17日(木)に、6年生が全国学力量学習状況調査を実施しました。国語、算数だけでなく、3年ぶりに理科の調査もありました。私も理科教師ですので、やってみました。でも、やってみて驚きました。理科の知識を問うよりも、ほとんどの問題が「日常の題材に関心をもち、資料を読み解き考える力」を重要視した問題ばかりだったからです。これが本当に理科の問題かなと正直戸惑いました。長文の問題を粘り強く読み、整理し、筋道を立てて考えないと解けない問題でした。

学力には知識量とか計算力とかだけではなく、点数化できない、簡単には捉えにくい学力もあります。そういった力を「非認知能力」といいます。意欲や協調性、粘り強さ、集中力、自制心、共感力、コミュニケーション能力などがそうです。この非認知能力が高いほど、子どもたちは自発的に学ぶことができます。人からうながされた学びよりも、自分から進んで学ぶことができるので、学習したことに深まりも広がりもぐんと出て、学力全般で確実に伸びていきます。

では、この非認知能力を高めるためにはどうしたらいいのでしょうか。それは、成功も失敗も子どもたちにたくさんの体験をさせること、家族や周りの人からたくさんのほめ言葉や励ましの言葉をかけることだと思います。ぜひ、ご家庭でもお子さまの頑張りをたくさん認めてあげてください。ほめてください。きっと、子どもたちは目を輝かせて学びを楽しむようになると思います。



【追伸】全国学力量学習状況調査のサイトへのリンクです。関心がありましたら、ご覧ください。 【国立教育政策研究所サイト】

1年生交通安全教室

4.
17
木



4月17日（木）1年生交通安全教室を行いました。交通ルールとマナーについて学びました。4月16日付中日新聞によると、2024年度県内の小学生交通事故の死傷者数は758人（うち死者1人）だったそうです。子どもたちが悲しい思いをすることのないよう、これからも知立小では交通安全教育に力を入れていきたいと思っています。ご家庭でも自転車の乗り方、家の近くの危険な交差点での一旦停止等、お話ししていただければ幸いです。

知立まつり（間祭り）

5.
2
3
金
土



今年も、たくさんの知小っ子が地域の行事に参加しました。今年度より、知立小学校学校運営協議会（通称：コミュニティ・スクール）が発足します。地域から大切にされる学校・地域を愛する子どもたちを育てる学校を目指し、これまで以上に学校、家庭、地域が連携を図って子どもたちを支え育てていきたいと思っています。